

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和102年03月13日

計画の名称	新世紀岡崎 衛る水のみち構築計画																			
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)											重点配分対象の該当								
交付対象	岡崎市																			
計画の目標	下水道整備を行い、命と暮らしを守る総合的な老朽化対策及び事前防災・減災を促進する。																			
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		9,712		A	9,706		B	0		C	6		D	0		効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0.06		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	管渠の長寿命化対策実施率を24％(H27)から100％(H29)へ増加させる。			
	管渠の長寿命化対策実施率	24％	100％	100％
	長寿命化対策を実施した延長（km）/長寿命化計画に位置付けを行った延長（km）			
2	ポンプ場の長寿命化対策実施率を13％(H27)から68％(H29)へ増加させる。			
	ポンプ場の長寿命化対策実施率	13％	68％	68％
	長寿命化対策を実施した資産数/長寿命化計画に位置付けを行った資産数			
3	管渠の耐震対策実施率を47％（H27）から48％（H30）へ増加させる。 ※H29、H30補正に重点計画へ切出し			
	管渠の耐震対策実施率	47％	48％	48％
	下水道施設の耐震対策指針に準ずる耐震性能を確認・確保した延長(km)/重要な管路に位置づけられた延長(km)			
4	ポンプ場の耐震対策実施率を50％（H27）から62％（H28）へ増加させる。 ※H29に重点計画へ切出し			
	ポンプ場の耐震対策実施率（その他関連する事業を含む）	50％	62％	62％
	下水道施設の耐震対策指針に準ずる耐震性能を確保した施設（箇所）/全施設数（箇所）			
5	災害対応トイレ整備率を53％（H27）から57％（H29）へ増加させる。 ※H29に重点計画へ切出し			
	災害対応トイレ整備率	53％	57％	57％
	設置済み避難所数（箇所）/下水道認可区域内の広域及び一時避難所数（箇所）			

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
6	都市浸水対策達成率（1/5規模の整備率）を81.4%(H27)から81.5%(H29)へ増加させる。			
	都市浸水対策達成率（1/5規模の整備率） 概ね5年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全な下水道整備が完了している区域の面積の割合＝（1/5確率降雨相当の雨水整備完了面積(ha)）／（1/5確率降雨相当の雨水整備を実施すべき区域の面積(ha)）	81%	82%	82%
7	雨水貯留浸透施設設置支援数を325基(H27)から415基（H29）へ増加させる。			
	雨水貯留浸透施設設置支援数	325基	415基	415基
8	ストックマネジメント計画策定の進捗率を0%（H28）から100%（H31）へ増加させる。			
	ストックマネジメント計画策定の進捗率	0%	50%	100%
9	管渠の長寿命化対策実施率を0%(H30)から40%(H31)へ増加させる。（ストックマネジメント計画に基づく）			
	管渠の長寿命化対策実施率（ストックマネジメント計画に基づく） ストックマネジメント計画に基づく長寿命化対策を実施した延長（km）/ストックマネジメント計画に基づく長寿命化計画に位置付けを行った延長（km）	0%	0%	40%
10	ポンプ場の長寿命化対策として実施設計及び平成31年度施工工事の実施率を0%（H31）から100%（H31）へ増加させる。（ストックマネジメント計画に基づく）			
	ストックマネジメント計画に基づくポンプ場の長寿命化対策として実施設計及び改築工事を実施する。	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
定量的指標4について：※施設を運用しながらでは対策が困難な箇所及びレベル2 対応を除く												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 合流）	改築	矢作川処理分区（老朽施設）	老朽管改築 L=21.0km	岡崎市	■	■	■			1,000		策定済	
		下水道長寿命化計画																		
	A07-002	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ 場	改築	雨水ポンプ場・汚水中継 ポンプ場	ポンプ場改築 177資産	岡崎市	■	■	■			812		策定済	
		下水道長寿命化計画																		
	A07-003	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 合流）	改築	矢作川処理区（地震対策）	管渠耐震対策	岡崎市	■	■				100		策定済	
		下水道総合地震対策計画																		
	A07-004	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 合流）	改築	矢作川処理区（地震対策）	管渠耐震対策	岡崎市					■		180		策定済
		下水道総合地震対策計画																		
	A07-005	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ 場	改築	雨水ポンプ場・汚水中継 ポンプ場	ポンプ場耐震化・改築	岡崎市	■	■				370		策定済	
		下水道総合地震対策計画																		
A07-006	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 汚水）	新設	災害対応トイレ（マンホールトイレ）	災害対応トイレ 2箇所	岡崎市	■	■				8		策定済		
	下水道総合地震対策計画																			

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 雨水）	新設	東鹿乗川排水区	雨水管□2000×□1000mm L=200m	岡崎市	■	■				130		—
	A07-008	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 雨水）	新設	乙川排水区	雨水管φ 400～□2100mm L=2000m	岡崎市	■	■	■			760		—
	A07-009	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 雨水）	新設	早川排水区	雨水管 φ 1650～3250mm L=1950m	岡崎市	■	■	■			100	1.13	策定済
		下水道浸水被害軽減総合計画																	
	A07-010	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 雨水）	新設	占部川排水区	雨水管□2200mm L=55m	岡崎市	■	■	■			140		—
	A07-011	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 雨水）	新設	占部川排水区	雨水管 φ 2600～□2400mm L=820m	岡崎市			■			760	1.45	策定済
		下水道浸水被害軽減総合計画																	
A07-012	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 雨水）	新設	砂川排水区	雨水管□1600～□2200mm L=450m	岡崎市		■	■			230		—	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-013	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 雨水）	新設	六斗目川排水区	雨水管φ1100mm L=350m	岡崎市		■	■			70		—
	A07-014	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 雨水）	新設	竜泉寺川排水区	雨水管□1500mm L=800m	岡崎市	■	■	■			90		—
	A07-015	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 雨水）	新設	広田川排水区	雨水管□1800mm L=700m	岡崎市	■					6		—
	A07-016	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ 場	新設	福岡雨水ポンプ場	処理能力4.6m3/s	岡崎市	■	■	■			2,250		—
	A07-017	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ 場	新設	六名雨水ポンプ場	処理能力8.0m3/s	岡崎市	■	■	■			100	1.45	策定済
		下水道浸水被害軽減総合計画																	
A07-018	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ 場	新設	八帖雨水ポンプ場	処理能力25.0m3/s	岡崎市	■	■	■			220	1.13	策定済	
	下水道浸水被害軽減総合計画																		
A07-019	下水道	一般	岡崎市	間接	民間	—	—	雨水貯留施設助成	雨水貯留（30基/年間）	岡崎市	■	■	■			5		策定済	
	新世代下水道支援事業制度水環境創造計画（水循環再生型）																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-020	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	－	改築	ストックマネジメント計画策定	計画策定	岡崎市			■	■	■	300		策定中
		ストックマネジメント計画																	
	A07-021	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 合流）	改築	矢作川処理分区（老朽施設）	老朽管改築L=10.0km	岡崎市				■	■	2,000		策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-022	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ 場	改築	汚水中継ポンプ場	ポンプ場改築工事、実施設計	岡崎市					■	75		策定中
		ストックマネジメント計画																	
											小計						9,706		
											合計						9,706		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 汚水）	新設	災害対応トイレ（マンホ ールトイレ）	トイレ備品購入	岡崎市	■	■				6		策定済
		1. 0ha未満の避難所においても災害トイレを設置すること及びトイレ備品（帆式テント）を購入することにより、災害時の住民の安全と安心をより確保できる。																	
		下水道総合地震対策計画																	
											小計						6		
											合計						6		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	787	1, 150	1, 598	589	523
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	787	1, 150	1, 598	589	523
前年度からの繰越額 (d)	0	257	366	826	0
支払済額 (e)	530	1, 041	1, 138	1, 415	523
翌年度繰越額 (f)	257	366	826	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	359	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	18. 27	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由			地元の合意調整や用地交渉に難航し、不測の日数を要したため		

事前評価チェックシート

計画の名称： 新世紀岡崎 衛る水のみち構築計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画（知多湾等流域別下水道整備総合計画、全県域污水適正処理構想）と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
2) 岡崎市下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
3) 関連する他事業の計画と適合している。（矢作川流域下水道、岡崎市流域関連下水道、床上浸水対策特別緊急事業（H21～H26繰越））	○
I. 目標の妥当性	
4) 各種事業計画が策定され、適合している。（水循環創造事業（H27～H31）、浸水被害軽減総合事業（H28～H38）、総合地震対策計画（H21～H30）、下水道長寿命化計画（H25～H29））	○
I. 目標の妥当性	
5) 各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性	
地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量式指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②事業の効果	
II. 計画の効果・効率性	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	

[illegible]